

第 29 回日本産業ストレス学会のご報告

第 29 回日本産業ストレス学会は、新型コロナ第 6 波直後の令和 4 年 3 月 25 日～26 日の 2 日間、愛知県名古屋ウイングあいちの会場とオンライン・オンデマンドを組み合わせたハイブリッド形式で開催いたしました。現地開催は 2 年ぶりとなりましたが、2 日間で延べ 1176 名（3/25 586 名、3/26 590 名）、オンラインは 483 名、その後 4 月 2 日～5 月 8 日にかけて行いましたオンデマンド配信まで合わせると 1339 名の方々にご参加いただくことができました。

久しぶりの現地開催は、活気と笑顔にあふれ、本学会のメインテーマを

「現場から発信！明日へつなぐ～チームで進める産業ストレス対策～」

として 5 つの会場で様々なプログラムを展開、産業現場でのストレス対策最前線について、様々な職種、立場の方々学び、語り合い、交流することで、最新知見が共有化され、未来に向けた取組の活性化へとつながる大会となりました。

本学会は新型コロナウイルス感染拡大による先行きが見通せない中での企画、そして感染対策にご協力いただきながらの運営となりましたが、開催にあたりご尽力、ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。



第 29 回 日本産業ストレス学会

石川 浩二（三菱重工業株式会社 大江西健康管理チーム）

高崎 正子（キオクシア株式会社 人事総務部 安全健康管理グループ）

広報担当：櫻井 雅将（キオクシア株式会社四日市工場 総務部 安全健康担当）